

学校教育目標	学びあう私たちが目指す姿 「正解から回答へ」 「思考から試行へ」 「成功から成長へ」				
	○進取の精神と広い視野を持ち、自己実現に向けて努力する生徒【知 徳 体】 ○自他の良さや違いを認め合い、それを集団や社会の中で生かしていく生徒【徳 公 開】				
学校概要	創立 19 周年	学校長 小林 祐樹	副校長 塚田 剛	3 学期制	一般学級：18 個別支援学級：2
	児童生徒数： 691 人		主な関係校： 山田小学校・東山田小学校・北山田小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	東山田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 問題発見・解決能力 情報活用能力	東山田中学校 山田小学校 北山田小学校 東山田小学校	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます 「中学校ブロック4校の教職員の共通理解のもと、児童一人ひとりの存在をしっかりとみつめ、よさや違いを認め合い、学校内外の人とのかかわりを大切に教育活動に取り組みます。

中期取組目標	○学校・家庭・地域が一つのチーム東山田として機能するよう、連携を大切にした魅力ある学校づくりを行っていきます。 ・教職員が相互に啓発・連携し校内研修の充実を図ると共に、組織的にPDCAサイクルを機能させ、授業力向上を目指します。 ・一人ひとりを大切にするきめ細やかな指導を継続し、言語活動の充実を目指した授業を展開し、学力向上につなげます。 ・コミュニティスクールとしてのさらなる機能の充実を図り、地域との連携を生かしたキャリア教育や防災教育の実践を通して、コミュニケーション能力の育成を図り、生きる力を育みます。 ・小中一貫教育を組織的・機能的に推進し、9年間の学びの連続を通して、自分を磨き、互いを認め合い、人とつながることのできる力を育みます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きて はたらく 知 担当 教科研究・学力向上・情報教育	①少人数授業や学習相談や夏休み学習サポート教室など個に応じた指導を充実させる。またパソコンや大型ディスプレイなどの機器を用いて、教科領域を合わせたあらゆる学習活動で積極的にICT教育の充実を図る。②保護者・地域・生徒の授業評価を受け、授業改善に取り組みます。
徳 豊かな心 担当 道徳人権福祉・生徒会	①人権教育や平和教育・福祉教育などをテーマとした講演会を積極的に行うとともに、日常の道徳教育の充実によって心の教育を推進します。②生徒会や福祉委員会の活動の他、地域行事への生徒の積極的な参加や、清掃活動などのボランティア活動への参加を推進します。
体 健やかな体 担当 体育科・保健指導部	①生徒の傷病や感染症の状況を生徒・職員・保護者に共有し、傷病や感染を未然予防するよう努めます。②保健だよりや委員会活動を通じて、食生活の意識改善を図り、保護者・地域に食育に関する情報を発信します。③目標を持って運動に取り組み、楽しみながら体力向上につなげます。
公開 公共心と社会参画 未来を開く志 担当 学習指導部・キャリア総合学習	①教科等の学習内容とキャリア教育とのつながりを示し、学ぶことの意味を考える機会の充実を図ります。②生徒会活動やキャリア教育の学習を通して、身近な課題や社会課題の解決に向けた活動になるようにするとともに、家庭・地域に発信します。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①年3回生徒理解研修を行い、全職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生活指導部と連携した教育相談や生活アンケート(YPアセスメントも含む)により細かな変化を見逃さない体制をつくります。②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。また生徒の心情に寄り添って、積極的にいじめを認知します。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 研修企画・メンター	①主幹教諭を中心とした学年会組織を中心に、メンターチームの活動への支援を充実させ、積極的に研修や意見交換ができる雰囲気をつくります。 ②主幹教諭は学年連絡会や学校運営協議会での様々な意見交換を通じ、組織の活性化を図るとともに学校運営を支える人材としての指導力を高める。また、働き方の意識改革を進めます。
児童生徒指導 担当 生徒指導・教育相談	①日常の声かけを活性化し相談活動を充実させることで、生徒の動向を把握し情報を共有することで、生徒一人一人が持つ内面的な課題やいじめについての早期発見と迅速な指導に役立てます。②関係機関との連携を強化し、講演会などを実施することで、問題行動を未然に防ぎます。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①不登校生徒や教室に入りづらい生徒に対する支援計画を明確にし、集団生活に戻るステップとしてあおぞらルームを位置づけ、継続した支援を行います。②ケース会議をより活性化させ、話し合いの内容を職員会議等で報告し、個別の教育支援計画・指導計画と合わせて全教職員が共有し、日常の指導に生かします。
キャリア教育 担当 総合学習	①コミュニケーション能力の育成をねらい、3年間の系統的なキャリア教育を実践することで取り組みの効率化をはかります。②教科指導と共に、学校関係者以外の多くの人との協働やプレゼンテーションの経験を通して、課題設定・課題解決能力を養い、進路決定に生かしていきます。
安全管理 担当 保健安全指導	①職員間の情報交換を密にし、緊急時の連絡体制を明確にし、迅速な対応ができるよう、職員の防災研修を実施します。②実態に即した3年間の防災教育を計画し、実践するとともに、地域防災訓練への職員及び生徒の参加を勧め、共助の精神を養い、いざという時地域で役立つ生徒を育てます。